

まさき議会だより

No.129

2026年5月1日発行

3月定例会



P 2 **特集 議会報告 & 意見交換会**

P 4 令和8年度一般会計当初予算

P 10 町政について **4人が一般質問**

松前町
議会中継
[録画]



議会報告会

今年も総務産業建設（午前）、文教厚生（午後）のテーマで分かれて開催



盛況で終わった議会報告 & 意見交換会

意見交換会



【総務産業建設】

- ・危険空家の町独自の条例を作ってスピーディーな対応ができないのか。
- ・空家の増加で、庭木や雑草などが環境を害していたり倒木など危険な箇所もあつたりする。所有権の問題で処理できない事例が多く困っている。
- ・アーバンスポーツとはどんなもの？背景は？競技人口は？

【文教厚生】

- ・不登校の居場所づくり、特に小学校へのサポートルーム設置を早急にしてほしい。
- ・圧倒的子育て支援をうたっているならもっと「圧倒的に」すすめてほしい。
- ・不登校について保護者の救済ももっと考えてほしい
- ・健康寿命を延ばすための学習会や講座の実施や周知をしてほしい。
- ・食は健康な体を作る元なので、食育と学校給食の充実をさせてほしい。
- ・補聴器は高額なので、補助金額を増やすことで購入者も増え、コミュニケーションも図られ、認知症の予防につながるのでは。



などなど、他にもたくさんのご意見、ご要望が出され、活発な意見交換会となりました。



2月14日に議会報告&意見交換会を行いました。27名の町民の皆さんにご参加いただき、活発な意見交換会となりました。

《アンケート集計結果》

◎開催日時は参加しやすかったですか？



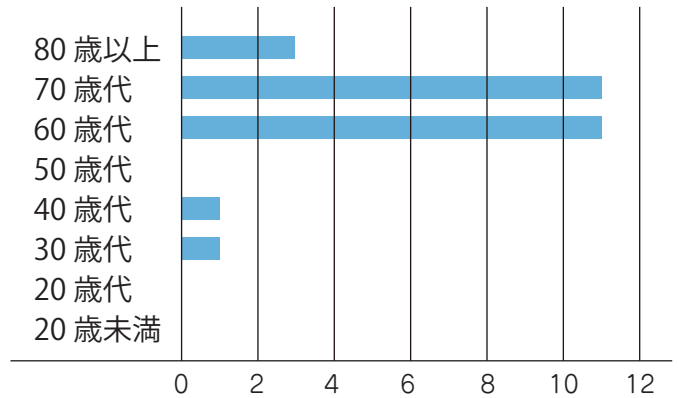
議会報告について

時間… ちょうどよい / 19人
 長い / 8人、短い / 0人
 内容… わかりやすかった / 12人
 わかりにくかった / 2人
 どちらともいえない / 2人

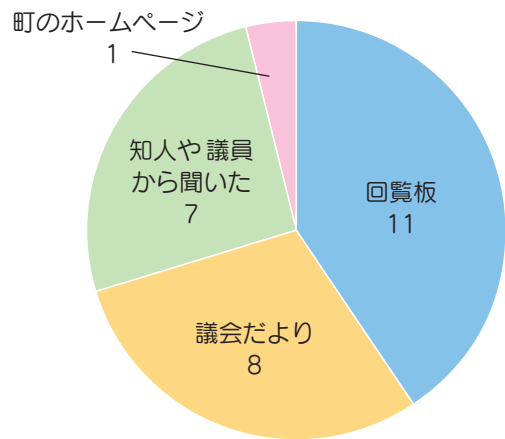
意見交換会について

時間… ちょうどよい / 13人
 長い / 1人、短い / 11人
 内容… よかった / 17人
 よくなかった / 0人
 どちらともいえない / 1人
 テーマ設定… あったほうがよい / 14人
 必要ない / 13人

◎参加年齢（計 27 人）



◎何で開催を知りましたか？



意見・感想 要望など

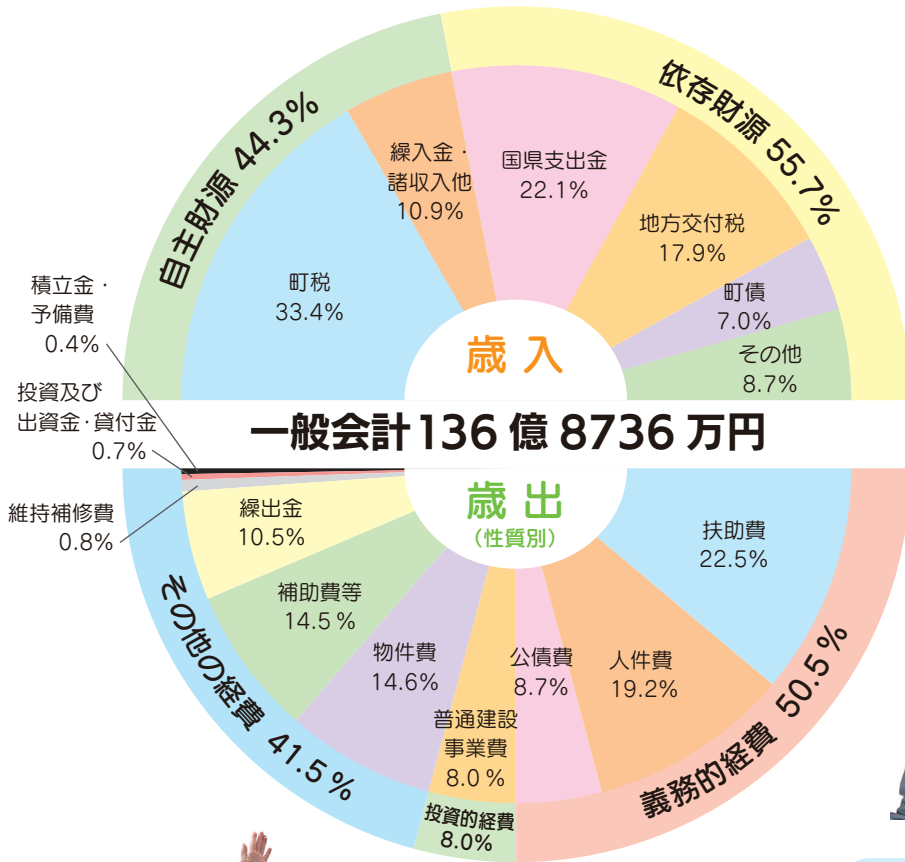
- ・ 去年は子育て世代の参加が多かったが今年は少なくて残念だった。
- ・ 短い時間だったが有意義な意見をきけて良かった。
- ・ 食の教育とあるが空家を活用して食の体験はできないか。
- ・ 学校の先生は社会実践を経験してから教諭になってほしい。
- ・ 駐車場に止められなくて困った。
- ・ 午前も午後も参加できて良かった。
- ・ 毎年開催してほしい。
- ・ 議会報告はその内容なら必要ない（直近の議会報告をしたらよい）。
- ・ いろいろな分野の人に講演をしてもらい町民が勉強する場をつくってほしい。
- ・ 地域コミュニティの繋がりをつくるサポートを行政がしてほしい。
- ・ 町民が切実に思っていることをよく調べて町政の改善へ。
- ・ 勉強になった。



ご参加いただきありがとうございました。
 これらの集計結果は今後の議会報告 & 意見交換会に活かしていきます。
 また、いただいた貴重なご意見やご要望は町政に届け、経過は議会だよりにてご報告いたします。

一般会計 136億8736万円 スタート

(前年度比 5.7%減)



前年度から 5.7% 減っているわけは？

町税全体やふるさと納税で2億4000万円ほどの増収を見込んでいるけれど、町債は12億8000万円ほど減額しているからだよ。町債は、主に筒井地区雨水対策事業で10億3000万円ほど減額しているんだ。



義務的経費が前年度より多くなったようだけど？

もっとも大きな要因は扶助費の増加によるものなんだ。



扶助費って？

扶助費とは、生活に困っている人、子育てをしている世帯、高齢者や障がい者などの生活を社会全体で支えるお金のことだよ。

義務的経費のひとつで、支出が義務付けられていて、削減が難しく右表のように今後も増えると思うよ。

令和5年度	23億3178万円
令和6年度	24億1487万円
令和7年度	28億7297万円
令和8年度	30億8556万円



その他の当初予算は？

右表のとおりだよ。



その他の当初予算

国民健康保険特別会計	30億1984万円(2.5%増)
後期高齢者医療特別会計	7億1017万円(20.3%増)
介護保険特別会計 保険事業 介護サービス事業	31億6388万円(3.3%増) 1680万円(4.4%増)
水道事業会計 収益的支出 資本的支出	6億6236万円 6億2042万円
下水道事業会計 収益的支出 資本的支出	4億4838万円 5億1161万円

学校給食費無償化

1 億 4687 万円

今年度より国・県から公立小学校の児童に対する給食無償化への助成



こども誰でも通園制度

261 万円

保育所等に通っていない0歳6か月から満3歳未満の子どもを対象とした、乳児等通園支援事業



予算決算

予算を
チェック①

子育て、
学校教育の充実を

派遣保育士確保

1432 万円



問 派遣保育士委託料に予算をかけるより、保育士全員の給料などを上げる方がよいのでは。

答 これまでも処遇改善を行い、給与面は県内でもトップレベルの水準である。

学校生活支援員設置

5857 万円



問 支援員一人当たりの担当児童生徒数と勤務形態は。

答 現在、支援員一人当たりの担当数は2.6人。6時間勤務が増加しているのは、支援員の希望によるもの。

放課後児童健全育成

1 億 2872 万円



問 令和7年度から民間委託しているが、評価と課題は。

答 支援員、補助員の確保ができ、利用できる部屋数も増え、より安全な保育が可能となった。課題は保育時間の延長実施である。

子どもの居場所づくり・多世代交流

50 万円



問 eスポーツイベントの開催回数と参加人数は。

答 各地区公民館で年4～5回開催。10人程度が参加し、高齢者と子どもたちの交流が行われている。

新エネルギー機器等 導入費補助

400 万円



問 家庭用蓄電池と電気自動車では、購入費が大きく異なるが、補助額は同じか。

答 国の補助なども勘案して補助額を算出しているため同じである。

アーバンスポーツ施設 整備検討委員会報酬

36 万円



問 今後、検討委員会の報告は。

答 検討委員会は原則公開である。中間報告などは、時期を見て公表する。

予算決算

予算を
チェック②

健康で明るく暮らせる町づくりは

地域公共交通運行支援

2270 万円



問 デマンドタクシーの一人当たりの補助単価は、コミュニティバスに比べて高いが。

答 今後、利用促進を図っていく。費用の差額に縮小が見込めない場合は、デマンドタクシーの在り方について検討する。

地域敬老事業補助

191 万円



問 補助を活用する団体数は。

答 令和5年度は10団体、令和6年度は14団体、令和7年度は20団体と増えている。

意見 地域の敬老会は交流の場として大切。町としてもサポートしてほしい。

町道西 74 号線の歩道整備

4878 万円



問 20mの歩道整備にこれだけの費用がかかるのか。

答 特殊な鉄道整備工事であることなどから、通常よりも割高となっている。

介護施設整備補助

3108 万円

特別養護老人ホーム開設に係る
準備費用を補助



地域おこし協力隊

1650 万円

公募型プロポーザルにより
受託候補者を選定し、業務
を実施



ふるさと納税

8309 万円

令和8年度目標額 1 億 5000 万円



予算決算

予算を
チェック③

活気あふれる町づくりは

中小企業振興プロジェクト

1617 万円



問 オンラインプラットフォームへの登録
事業者を倍増させる具体策は。

答 SNS活用による認知度向上や成功事
例を通じた魅力発信を行っていく。

漁船処分

156 万円



問 個人所有の漁船に対する補助を他の
自治体でも行っているのか。

答 県内ではないが、他県ではある。

まさき町産業まつり(たわわ祭)

303 万円



問 なぜ開催回数を減らすのか。

答 一回当たりの規模が大きくなり、運営に係る
人員確保が難しくなったため。

農地集積・集約化支援

172 万円



問 畦畔除去の実績と集約状況は。

答 令和5年度から 18 件。畦畔除去による
土地の入れ替えはない。

予算決算

予算を
チェック④

安心安全な町づくりは



(第5分団消防詰所建設予定地)

消防詰所建設

2億2381万円

- ・第3分団消防詰所の建設
1億4224万円
- ・第2分団消防詰所建設に向けた整備
7055万円
- ・第5分団消防詰所建設に向けた整備
1101万円

防災行政無線

504万円



問 放送を無線ではなく、コミュニティラジオにする考えは。

答 ラジオ放送には、法人が運営するラジオ局が必要となるため難しい。全ての人に情報が届くようにしたい。

補正予算を
チェック

一般会計補正予算（第9回） 2億1264万円増額

総合防災マップ（津波編）更新

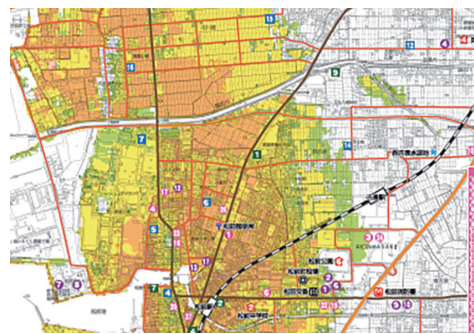
700万円

問 更新する内容は。

答 浸水エリアの更新があったので変更している。

問 液状化への対策は。

答 抜本的な地盤改良は費用が膨大となるため、まずは「早期避難」の意識付けを徹底したい。



一般会計補正の主なものは

認定こども園等保育給付負担金	8336万円
都市計画マスタープラン改定など	965万円
戸籍システム改修	351万円

その他の最終補正予算

国民健康保険特別会計	1万円
後期高齢者医療特別会計	659万円
介護保険特別会計（保険事業）	3042万円
水道事業会計	2億2000万円

ふるさと納税基金条例の制定 企業版ふるさと納税基金条例の制定

問 どうして基金条例が必要なのか。

答 会計年度独立の原則により、寄附されたお金は受領年度に充てることとなっている。基金を設置することで翌年度以降の事業にも計画的に寄附金を充てることが可能となるため。



常にチャレンジ！
エチュード模様の返礼品
和将窯 山本さん

特定乳児等通園支援事業の運営に関する 基準を定める条例の制定

令和8年4月から始まった「こども誰でも通園制度」のことで、この制度には子ども子育て支援金が充てられる

問 事故発生の防止及び発生時の対応は。

答 発生を防止するための指針を整備し、職員に対する研修も併せて行っていく。



快適で豊かな暮らしのために

いずれも可決しました。



- その他の議案**
- 条例の一部改正
 - ・ 行政手続条例の一部改正
 - ・ 印鑑条例の一部改正
 - ・ 監査委員条例の一部改正
 - ・ 職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正
 - ・ 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正
 - ・ 町長等の給与の特例に関する条例の一部改正
 - ・ 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正
 - ・ 水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部改正
 - 松山市及び松前町における連携中枢都市圏形成に係る連携協定の変更
 - 松前町と松山市におけるごみ処理に係る事務の委託

介護保険条例の一部を改正する条例

令和7年度の住民税の非課税者で、令和8年度の保険料算定において介護保険法施行令の一部を改正する政令により令和7年度税制見直しの影響を遮断されるものについて、住民税の非課税者として判定する保険料段階まで保険料を減免できることとするもの。令和8年限りの措置となる。

人事



教育委員会委員（新任）
神野由里子さん（神崎）

一般質問



※すべての質問を掲載しているわけではありません。
詳しく知りたい方は、QRコードを読み取り、録画中継をご覧ください。

町全体の土地利用の ビジョンは

「ビジョンを明確にしよう」

問 権限移譲後の運用と市街化調整区域を含めた町全体の土地利用のビジョンは。

答 開発許可の権限が県から町に移譲されたことに伴い、本町では建築技師等の専門職の採用を進めるなど運用体制を整備している。

今後20年を見据えた町の将来像と整備方針を示す「都市計画マスタープラン」の中で、土地利用の全体ビジョンを明確にしていく。

市街化調整区域は北伊予や岡田地区に特に多い。町単独ではなく松山広域都市圏に位置付けられている中予管内市町で連携して県に相談し、市街化調整区



重松 知之
議員



域における既存建築物の利活用を妨げている規制の見直しに向けて取り組んでいきたい。

多言語対応をどう 行っているか

生活に身近な行政サービスを中心に、必要な分野から順次拡充している

問 本町で多言語対応はどのように進んでいるのか。

答 今のところ、保育・教育現場における多言語支援のニーズは限定的であり、今すぐに支援員の派遣や経費支援を行う必要性は低いと考えている。

保育・教育現場だけでなく、地域住民やボランティア団体が協働して支援できるよう、地域ぐるみの支援体制づくりも視野に入れて支援策を検討していきたい。



持続可能で公平性のある多言語支援体制の整備を。

学校給食費に対する国の支援金の使い道は

財政負担の軽減分は、町の事業全体のバランスで判断

問 本町は、既に学校給食の完全無償化を行っているのですが、今回の国の支援金は、町の負担軽減となる。これを更に食材や給食内容の充実に向けて考えは。

答 児童一人当たり月5200円の支援措置は、財政負担の軽減にはなるが、これまで一般財源で支えてきた分の補填でもある。人件費、建設コスト、光熱費など固定的経費の上昇で決して余裕のある予算編成ではない中、町が行う事業全体のバランスで使い道を考えたい。その上で、地産地消、地元農産物の活用拡大、食育との連動は今後研究検討していく考えだ。



藤岡 緑
議員



家庭環境の差異で、子どもたちの将来が左右されない社会に。



みんなの期待に沿う給食を
北伊予小学校

ヤングケアラーの支援強化体制は

早期発見と継続的な支援が重要であると考え

問 ヤングケアラーは、外からわかりにくく、本人や家族の自覚がない場合が多い。支援強化の対策は。

答 令和6年の子ども・若者育成支援推進法改正により実態把握の充実と支援体制の整備が求められている。本町では、町内の小中学生・高校生年代の子どもを対象に年1回のアンケートを実施。結果を踏まえ、福祉・教育両部門が連携し、研修を受けて更にきめ細かい支援を行っていく。

国の学校給食費無償化制度の枠組は

今回の措置で基準額分は国費で、町の財政負担は大きく軽減

問 令和7年度から全額一般財源で実施している小中学校給食費の無償化に対して、今回の国の措置は。

答 令和8年度から、公立小中学校の児童1人当たり「月額5200円」を基準額として支援するもの。

国及び都道府県がそれぞれ1/2を負担して都道府県から交付するもので、自治体が実施する無償化経費の一部に充当する構造である。これまで町が一般財源で全額負担してきた部分の一部が国費に置き換わるという構図で、言い換えれば「全額自己負担」から「多くの部分が国費負担」へと変わるといえることである。



影岡 俊範
議員



国の支援は小学校であるが、松前町は先行して中学校の給食費も無償化してるんだね。



北伊予中学校

ディスレクシアへの対応は

教育と福祉が連携し、誰一人取り残さない学びの場づくりを

問 ディスレクシア※について、本町の教育・福祉の対応は。

答 学校現場では、特別な支援が必要な児童生徒を早期に把握し、一人ひとりの教育的ニーズに応じた支援を行う。

また、特別支援連携協議会を設置し、学識・医療関係者、児童発達支援の福祉関係者、行政内の福祉・子育て支援担当者との連携を図る体制を構築している。

※ディスレクシアとは、知的発達に遅れはないが、文字の読み書きに著しい困難を示す学習障害

空家対策の現状とこれからの方針は

空家は地域資産でもあると認識し、総合的に対策する

問 町内全域を対象とした空家調査が行われたが、その活用は。

答 まず、「調査実態に即した「松前町空家等対策計画」を令和8年度中を目処に見直し策定する。併せて、新たに空家等管理活用支援法人を指定し、先に連携協定した各団体とも協力体制を整え、危険空家の是正、空家の利活用推進、管理不全の予防を三位一体で進め、必要な情報の提供を随時行う。

○管理不全等の候補空家 34戸
○新立・本村空家除却 49戸



池内 邦仁
議員



町民の誰もがストレスフリーな暮らしができるよう、まず各種手続きの簡素化を。

高齢・小規模農家への物価高対策支援は必要だが将来を見据えた政策がより重要



空家セミナーの様子
(岡田地区)

問 農業などへの物価高騰支援は。物価高騰への対応は、一定の必要性があると認識している。

しかし、将来を見据えたとき、支援の方向性としては、他産業も同様だが、延命型の支援よりも、生産性向上・付加価値創出・規模拡大への支援を充実させる方向で、地域経済全体の競争力を高める政策を推進していく。

子ども議会 開催します！ この夏 8/7 (金)



※詳細は6月中旬頃に学校を通じてプリントでお知らせします。

専決処分の報告

塩屋排水機場整備工事変更請負
契約の締結

498 万円増額



津波や堤防の決壊による影響を考慮し
制御盤や自家発電設備等を堤防天に変
更したことにより、擁壁及び堤防の盛
土が追加となった。



いずれも承認・
可決しました。

専決処分の承認

令和7年度一般会計補正予算
(7回目)

1588 万円増額

衆議院議員総選挙(令和8年2月8日)
のため

令和7年度一般会計補正予算
(8回目)

1 億 8224 万円増額

- ・物価高騰の影響を緩和するため、町内の店舗で使用できる商品券を町民全員に交付。
- ・学校給食の質や栄養価を維持するため、食材費の緊急助成。

2月12日に開催され、
た第1回臨時会では、
報告1件、議案2件
が提出されました。

伊予市・伊予郡養護老人ホーム組合
和楽園

総額 3 億 5583 万円

- 分担金及び負担金 1 億 5066 万円
(内松前町分 7207 万円)
- 出身地別措置者数(令和8年3月現在)
松前町…26人 伊予市…4人
砥部町…4人 組合外…13人



伊予消防等事務組合
各消防署及び聖浄苑

総額 18 億 6091 万円

- 分担金及び負担 17 億 4497 万円
(内松前町分 4 億 9815 万円)
- 消防車両更新(1台)
- 庁舎施設整備
- はしご付消防自動車オーバーホール



伊予市松前町共立衛生組合
塩美園

総額 2 億 4188 万円

- 分担金及び負担金 2 億 3218 万円
(内松前町分 1 億 2474 万円)



伊予地区ごみ処理施設管理組合
伊予地区清掃センター

総額 4 億 9800 万円

- 分担金及び負担金 4 億 4710 万円
(内松前町分 2 億 130 万円)
- 伊予地区清掃センター解体工事発注
仕様書作成等業務委託は令和8年度終了



研修報告

町民の声を大切にした子育て対策を

文教厚生常任委員会



●研修内容

①少子化対策について (奈義町)

- ・経済的支援はもちろんのこと、精神的支援という視点で対策を行っている。
- ・なぎチャイルドホームにて世代を超えて交流、相談、学びを行う。
- ・しごとコンビニ事業で子育てしながら就労する仕組みづくりを構築する。

②子育て支援施策について (吉備中央町)

- ・地域で子育て「子育て応援宣言」「ベビーファースト宣言」を発表し、新しい故郷を創造する。
- ・屋内型遊具施設キッズパークや、子育て支援センターによって、子どもが安心して遊び、成長できる「子ども広場」を充実する。

●今後に生かしたいこと

- ・町民の声を大切にした子育て支援を行政に働きかけていく。



文教厚生常任委員会

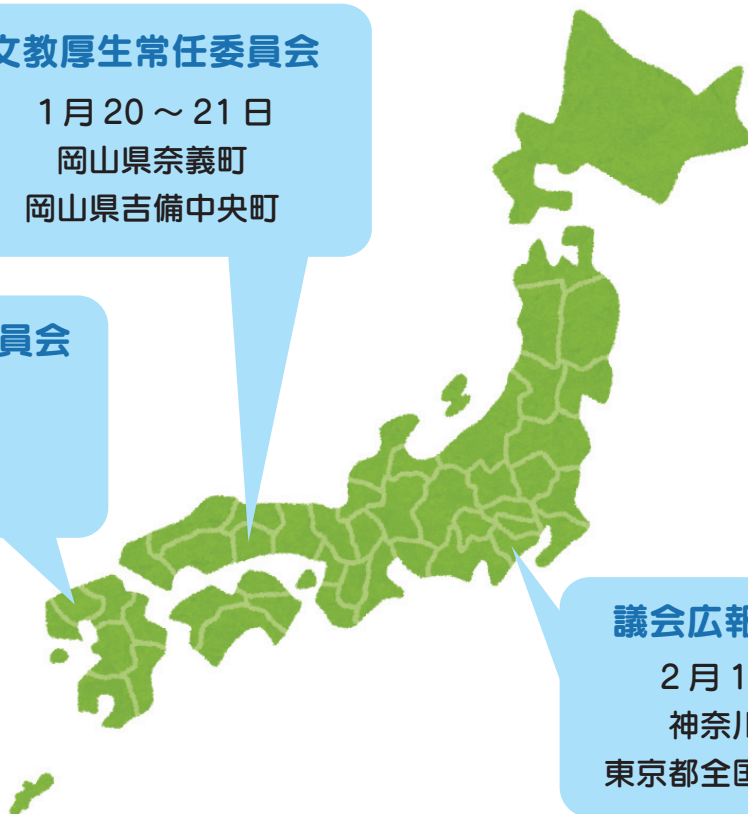
1月20～21日
岡山県奈義町
岡山県吉備中央町

総務産業建設常任委員会

2月9～10日
佐賀県武雄市
佐賀県佐賀市

議会広報常任委員会

2月18～19日
神奈川県開成町
東京都全国町村議員会館



ぶれないコンセプトで事前検討をしっかりと

総務産業建設常任委員会



●研修内容

①DX関連でスーパーアプリを導入（武雄市）

- ・目的は、行政サービスのワンストップ化
- ・初期導入費用4500万円、年間維持費650万円
- ・現在アプリ登録者獲得に苦慮、登録者目標1万6000人に対し3500人
- ・スマホに不慣れな人向けにデジタルディバイド事

②SAGAアリーナ視察（佐賀市）



アリーナのビジョン及びコンセプト

- ・稼ぐスポーツ（施設）
- ・専用駐車場の不設置
- ・一般市民は基本的に利用対象外など
- ・避難場所としても利用するため動線の確保、女子トイレの確保など
- ・細部に渡って各方面が潤うコンセプトを事前に検討開示（公共交通、まちづくりなど）

●今後に生かしたいこと

- ・本町のアーバンスポーツなども、コンセプトをしっかりと監視していく。

「読む」から「魅せる」へ 心を動かす広報紙づくりへ

議会広報常任委員会



●研修内容

①議会広報改革の先進事例（神奈川県開成町）

- ・議場を教育の場（授業、自習室）として開放する。
- ・議会独自のウェブサイトを開設し、紙面での広報も継続しながら動画配信を行っている。
- ・チーム議会として議員全員が取材や意見報告会に取り組んでいる。

②広報クリニックを受講（全国町村議員会館）

- ・住民側に立って作成する。
- ・ニーズに沿った内容を企画、特集記事とする。
- ・イラストより写真を掲載する。色を使い過ぎない。

●今後に生かしたいこと

- ・議員一人ひとりが地域に溶け込み、特性や実態を把握し広聴や取材に取り組んでいく。
- ・皆さんに読んでいただける広報紙を目指し創意工夫していく。



町民の声

松前町の未来

東古泉 原 豪

松前町は非常に小さな面積でありながら、東西にJRと私鉄の駅が7駅。町内殆どの場所から車で10分以内で、南北に近接する外環状道路と高速道路のインターチェンジに到達可能であり、松山空港へのアクセスも良好。エミフルもあり国道沿いには大手チェーンの飲食店なども複数

立地。自然災害も少なく県内他の自治体と比較すれば恵まれた環境でありながら、人口減少対策や賑わい創り等の政策があまり見えてこないという感覚があります。

最近のアーリーナ構想についてもプラン表明以降、広報でも公式HPでも町民に対する情報発信が極めて少なく残念。人口減少からの反転という意味では県内随一のポテンシャルがあるはずなので、スケールの大きな街創り政策に期待しています。

『町民の声』をお寄せ下さい

次号議会だよりの掲載の締切りは5月末です。300字程度で必ず名前・住所・連絡先をお書きください。
(投書多数の場合は、広報委員会で決定)

【宛先】〒791-3192 松前町筒井631
議会広報常任委員会「町民の声」係
◆ Fax 985-4148 ◆

メールは、町のホームページからタイトルに「町民の声」と入力の上「議会事務局」へお送りください。

【次回定例会の予定】

6月9日(火)~22日(月)

一般質問

6月15日(月)

インターネット
配信やっています



西村 元一 議員

特技/船の運転(小型船舶一級免許)
趣味/動物を飼うこと(犬4匹、ヤギ1頭と同居中)
好きな食べ物/イチゴ、サクランボ



池田 幸子 議員

趣味/親子でキャンプ、サーフィン、スキューバ
特技/YOGA
好きなこと/バイクでツーリング

議員のよこがお

編集後記

昨年の9月に、各委員会の編成替えがありました。徐々に議会広報委員になりました。

2月には議会広報常任委員会で、広報紙作成の研修を受講しました。また「まさき議会だよりの評価もいただきました。その事を生かした構成や表現方法に注意して、議会の内容をよりわかりやすくお伝えできるように取り組めます。

議会や議会だよりについて、ご意見をお聞かせください。

(加藤 博徳)

議会広報常任委員会

- | | |
|-------|--------|
| 委員 長 | 渡部 恵美 |
| 副委員 長 | 池田 幸子 |
| 委員 | 加藤 博徳 |
| 委員 | 影岡 俊範 |
| 委員 | 曾我部 秀司 |
| 委員 | 池内 邦仁 |
| 委員 | 重松 知之 |